

# 令和 2 年度 事業報告

## 1. 事務局

豊島修練会は、財団法人から公益財団法人に移行して9年を経過した。公益財団法人として大事にしていることは、本法人を構成している一人一人が設立目的を十分に認識し、法人自治と自己責任経営を軸に公益目的事業を推進し、その目的の実現を図っていくことである。

今後も法人自治と自己責任経営を軸に公益目的事業を推進し、この法人の目的の実現を図っていくために、引き続き次の諸点に力を入れていく。

まずは、事務局のメンバーが公益目的事業の具現化に各人の能力を発揮し、協力し合い、評議員会ならびに理事会と連携していく。

次に、評議員・理事・監事及び評議員会・理事会がそれぞれ独自の機能を発揮しつつ連携して、ガバナンス（機関運営）をより確固たるものとする。そして、法令や本法人の定款、規則・規程に基づいたコンプライアンス（法令遵守・規範遵守）を保ちつつ、日々堅実に実践していくことが重要である。

これらのことを通して、一館二荘の施設・設備に必要な補修を施すなど、適正な管理・運営を進め、本法人の趣旨の周知と利用者の拡大を図っていく。

事務局が令和2年度に推進した主な事柄は、次の通りである。

- (1) 令和元年度における豊島修練会の業務、各会計の処理、財産の運用などについての監査を令和2年5月10日（日）に実施した。
- (2) 第17回定時理事会を令和2年5月23日（土）に実施する予定であったが、新型コロナウイルスが感染拡大中のため、当会定款第47条「決議の省略」に基づき、文書により監事・理事全員の同意を得て、令和元年度の事業報告及び決算の承認、第9回定時評議員会の日時・場所・目的である事項等の決定が行われた。
- (3) 第9回定時評議員会を令和2年6月6日（日）に実施する予定であったが、新型コロナウイルスが感染拡大中のため、法人法194条1項（決議の省略）に基づき、文書により監事・評議員全員の同意が得られたので、令和元年度の事業の報告、決算の承認等の決定行われた。
- (4) 令和元年度事業報告及び決算にかかわる書類などを令和2年6月25日（木）付で内閣府に電子提出した。
- (5) 第18回定時理事会を令和3年2月20日（土）に実施する予定であったが、新型コロナウイルスが感染拡大中のため、当会定款第47条「決議の省略」に基づき、文書により監事・理事全員の同意を得て、令和3年度の事業計画案、収支予算案のほか、役員候補者推薦委員会の外部委員の選任や監事、理事からの選任、評議員選定委員会の外部委員の選任監事の選任、第9回臨時評議員会の日時・場所・目的である事項に関する決定が行われた。
- (6) 第9回臨時評議員会を令和3年3月7日（日）に実施予定であったが、新型コロナが感染拡大中のため、法人法194条第1項（決議の省略）に基づき、文書により監事・評議員全員の同意が得られたので、令和3年度の事業計画や収支予算の報告が行われ、役員候補者推薦委員会や評議員選定委員会の評議員からの委員の選任等の決定が行われた。
- (7) 令和3年度の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記した書類、第18回定時理事会の議事録などを令和3年3月17日（木）付で内閣府に電子提出した。
- (8) 本法人の経理的基盤の安定化のために、利用者の増大に努めるとともに、的確に無駄のない経費の節減を進めた。

- (9) 公益目的事業を円滑に展開していくために、職員同士はもちろん職員と利用者等との間における適時適切な報告・連絡・相談の実践に努めた。
- (10) 不特定多数の方々への広報活動として、広報誌「かけはし」の発行の他、「しゅうれん会からのメッセージ」「しゅうれんかい Q&A」「ほん・本・ブック」「利用案内のしおり」「掲示板」「ちらし」などを作成配布し、本法人が行っている事業について広く PR に努めた。

## 2. 成美教育文化会館を活用した事業（公益目的事業1）

会館は、地域社会における不特定多数の人の教育・文化・福祉の向上及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とした公益目的事業を行った。

### (1) 貸室事業の推進

全体の平均稼働率は、約 27%で昨年度より 3 割程度減少した。（次ページの表参照）。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受けた 4 月、5 月の休館と感染を警戒しての利用控えが大きく影響した。特に大人数を集めて行うホールやギャラリーを使ったイベントの開催が目立って減少した。年度後半に向かって、人数を制限するなどの感染対策を工夫しながら利用を再開する団体も増え、やや持ち直してきた感がある。しかし、例年に比して利用者が大きく減じた年度であった。

### (2) 各種活動への支援

ホールやギャラリースペース、研修室などでの活動の内容をホームページで紹介したり、リーフレットとして配布したりして、いつどのような内容のものを行っているかを不特定多数の人々に知らせるようにした。

- ①文化芸術の振興を目的とする活動（講演会、音楽会、絵画展、写真展、その他の文化的発表会など）
- ②福祉の増進を目的とする活動（懇談会、研修会、健康診断など）
- ③健全な育成を目的とする活動（ダンス、日本舞踊、茶道、体操など）
- ④健全な発達を目的とする活動（音楽会、発表会、料理教室など）
- ⑤人間性の涵養を目的とした活動（絵画、彫刻、俳句、短歌、水墨画、合唱、囲碁・将棋、書道など）

### (3) 主催・共催事業の開催推進

#### ○映画会

年間 4 回の企画をしたが、ホールに多くの人を集めて行う映画会は新型コロナウイルス感染状況から難しく、1 度も開催できなかった。

## 令和2年度 貸室事業の推進

部屋	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	総計	昨年度
ホール	前			2	3	4	2	6	9	5	5	5	11	52	186	303
	後			2	4	5	5	10	10	12	8	13	12	81		
	夜			2	1	1	4	7	5	7	6	10	10	53		
ギャラリー	前			8	18	13	20	16	18	15	11	15	21	155	416	614
	後			13	19	15	21	16	20	15	7	12	17	155		
	夜			11	14	9	12	13	12	12	9	3	11	106		
会議室	前			1	1	1	1	5	3	3	2	0	0	17	40	138
	後			1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	19		
	夜			0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	4		
調理室	前			6	9	9	8	9	7	9	6	6	6	75	113	173
	後			0	6	7	2	1	5	4	3	3	3	34		
	夜			2	0	0	4	4	2	0	0	0	3	15		
美術 工芸室	前			3	2	1	2	3	3	3	2	0	0	19	86	219
	後			7	7	5	7	8	7	7	7	6	6	67		
	夜			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
音楽室1	前			6	9	4	7	8	11	8	6	6	6	71	248	459
	後			10	14	10	15	20	18	15	2	4	8	116		
	夜			6	5	5	6	7	7	7	4	6	8	61		
音楽室2	前			11	13	14	7	12	16	13	10	11	5	112	306	483
	後			8	7	4	5	11	8	8	10	14	10	85		
	夜			11	13	12	9	11	10	13	13	8	9	109		
大研修室	前			9	9	6	9	15	18	7	6	10	11	100	202	282
	後			6	6	5	9	16	14	7	6	7	10	86		
	夜			2	2	0	2	2	4	0	1	1	2	16		
研修室1	前			8	6	6	4	6	7	5	5	4	8	59	178	354
	後			10	8	6	6	13	9	8	6	4	10	80		
	夜			3	4	1	3	6	5	4	6	3	4	39		
研修室2	前			2	2	1	0	5	4	3	3	1	5	26	255	391
	後			15	19	8	15	17	16	17	11	11	17	146		
	夜			13	8	5	10	9	8	9	7	6	8	83		
和室いずみ	前			9	9	7	11	14	14	11	9	13	10	107	201	252
	後			6	6	4	5	8	7	7	4	6	10	63		
	夜			2	2	1	3	2	3	4	3	3	8	31		
茶室はぎ	前			8	11	12	12	17	18	13	9	12	13	125	153	143
	後			0	1	0	3	8	6	2	2	2	3	27		
	夜			0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		
プレイルーム	前			6	6	3	7	12	7	7	1	4	10	63	158	242
	後			1	7	4	6	7	2	4	0	6	8	45		
	夜			4	3	2	5	7	4	6	5	8	6	50		
計				214	257	193	248	335	320	271	200	225	290	2553		
利用枠				958	1027	858	997	1034	960	924	843	920	1002	9523		
稼働率(%)				22.3	25	22.3	24.9	32.4	33.3	29.3	23.7	24.5	28.9	<b>26.8</b>		

#### (4) 事業のための基礎の充実

##### ① 経理的基礎

- ・ 各月の経理状況を比較・検討し、複数の担当者（経理担当理事、吉田税務会計事務所税理士）がかかわり、財務基盤の明確化と経理処理の適正化を図った。
- ・ 安全性を確保(施設・設備の計画的改修・修繕)するために、必要な予算を計上し計画的に執行した。
- ・ 諸経費を計り、算出を見通すとともに、定款に定められた必要な経理情報を、ホームページを通して開示した。

##### ② 技術的能力

- ・ 貸室事業については、受付事務を当会館窓口に一本化することにより、受付の重複がないようにするとともに、ホール、ギャラリースペースについては1年前、その他の部屋については6か月前から受付を行い、計画的な利用ができるようにした。また、ホームページに掲載している空き室状況を毎日更新し、利用者の便宜をはかり、利用率の向上に努めた。
- ・ 利用者が多い金・土・日については、戸田ビルパートナーズに依頼して、技術員を常駐させるとともに、他の曜日についても、必要に応じて勤務日の振替えを活用するなどして技術員をおくことにより、利用者が安心して当会館を利用できるようにした。
- ・ 年間を通して計画的に安全点検や施設の維持管理を行うとともに、修理、補充を計画的に行い、安全で機能的な施設を利用できるようにした。また、年間を通して計画的に美化・清掃に努めるとともに、毎日の定期的な清掃と、使用後の清掃の励行に努め、安全で清潔な施設を貸与できるようにした。
- ・ 安全・安心・快適・節約にかかわり以下の事業を実施した。改築後20年以上を経過して、多岐に渡って修理・交換する必要がでてきている。
  - 非常用発電機内充電器交換工事 ○硝子フィルム交換工事
  - 水銀灯のLED化工事 ○1F・3FダウンライトLED化工事
  - AI顔認証体温測定カメラ設置
  - 調光設備部品交換
  - エレベータ昇降路内換気扇交換
  - 自動ドア電気錠交換工事（自動ドアの部品交換）
  - 会館通用口電気錠交換工事
  - 5F男子トイレ、和室トイレ交換工事○電気給湯機修理
  - テレビブースター調整工事 他
  - 節電の実施
    - ◆夏期に2台のエレベーターのうち、1台を停止
    - ◆廊下の電灯を一部消灯(活動に支障のない程度)
    - ◆洗面室の常時温水供給を停止
    - ◆冷房の28度徹底の呼びかけ
  - 感染対策の実施
    - ◆アルコール消毒、体温測定
    - ◆3密にならないよう、廊下等の椅子の適宜撤去
    - ◆湯茶器具の使用禁止 等

### 3. 臨海学寮・林間学寮を活用した事業（公益目的事業2）

#### (1) 宿泊施設の貸室事業の推進

年度当初の新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、定期利用している団体がすべての利用を中止した。海の学寮（至楽荘）は8月に1団体と2家族の利用を受け入れた。利用者の激減と荘側の安全への対応の困難さから、至楽荘は8月以外を山の学寮（一字荘）は全期間を閉荘とした。結果として、延べ68人のみの利用となった。

#### (平成24～令和元年度の貸室の状況)

学 寮		利用者数	延べ人数	二荘利用者の 延べ人数の合計
臨海学寮 (至楽荘)	H24年度	2149人	4891人	
	H25年度	2163人	5303人	H25 7434人
	H26年度	2500人	5458人	H26 7428人
	H27年度	2348人	5439人	H27 7017人
	H28年度	2094人	5452人	H28 7065人
	H29年度	2034人	5477人	H29 7050人
	H30年度	2254人	5321人	H30 7147人
	R1年度	2075人	4986人	R1 6618人
林間学寮 (一字荘)	H24年度	766人	2214人	
	H25年度	726人	2131人	
	H26年度	686人	1970人	
	H27年度	536人	1578人	
	H28年度	559人	1613人	
	H29年度	614人	1573人	
	H30年度	628人	1826人	
	R1年度	560人	1632人	

#### (2) 各種活動に対する支援（団体利用者・一般利用者、宿泊訓練・野外活動等）

・学寮のある千葉県勝浦市や長野県茅野市には、担当者が出向き、地元関係機関との連携をとった。（コロナ感染拡大により年度途中で訪問した。）

#### (3) 主催・共催事業の推進

ほぼすべての期間を閉荘としたので、主催事業として計画していた自然体験教室は中止した。

#### (4) 事業推進のための基礎の充実

##### ① 経理的基礎

- ・公益目的事業2の運営に、寮費、賛助会員の入会金と年会費を当てた。本年度の賛助会員は、前期623人・後期622人で昨年度とほぼ同人数となった。
- ・共通会計より資金を繰り入れ、建物附属設備（ボイラー）を更新した。
- ・経理処理は、豊島修練会事務局の経理担当理事と吉田税務会計事務所税理士が連携して担当し、複数体制で内容確認を行った。
- ・予算、決算ともに、開示対象として、ホームページにも公開している。

##### ② 技術的能力

- ・貸室事業については、豊島修練会事務局の職員が担当し、運営管理した。ホームページで空き室状況を表示し、本年度はメールでも予約できるようにした。

- ・学寮としての適切な管理にあたるため、管理人（至楽荘：清水章次、一字荘：今井美富士）を配置している。9月に至楽荘管理人清水章次が病気のため逝去し、9月より清水千恵子（妻）を配置した。
- ・閉荘中ではあるが、経年劣化した箇所を修繕・更新した。

	定期的な設備管理	修繕・更新など
臨海学寮（至楽荘）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇消防設備保守点検</li> <li>◇貯水槽清掃・水質検査</li> <li>◇浄化槽保守点検、汚泥抜き</li> <li>◇害虫駆除</li> <li>◇冷凍冷蔵庫保守点検</li> <li>◇厨房内の清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラーの取替工事</li> <li>・浄化槽（1号～3号機）の更新工事</li> <li>・昇降階段下の破損の修繕</li> </ul>
林間学寮（一字荘）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇受水槽清掃</li> <li>◇消防用設備保守点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除湿器更新</li> <li>・本館と休憩室の間部分の建物を撤去（消防法により）</li> </ul>

#### 4. 成美教育文化会館の一部の賃貸事業（収益目的事業1）

地域社会における不特定多数の人の教育、文化及び福祉の向上、及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的とした公益目的事業活動を安定的に維持していくため、収益目的事業を行った。

(1) 成美教育文化会館の一部を長期に渡って貸し出している団体や法人

- ①平日午前中のホールを、学校法人なでしこ学園に貸与し、なでしこ学園は体育的活動や行事等で使用している。
- ②4階東側部分を教育センターとして東京都東久留米市に貸与し、東久留米市は事務室、教育相談室、適応教室、教育相談などに使用している。
- ③1階受付横の小部屋を株式会社クルメディアに貸与し、クルメディアは「FMひがしくるめ」のスタジオとして使用している。
- ④5階西側部分を進学塾エッセンシャルアカデミーに貸与し、エッセンシャルアカデミーは小・中学生の進学塾教室として使用している。
- ⑤4階西側部分を4 t u n e 株式会社に貸与し、4 t u n e は事務所として使用している。
- ⑥5階東部分を日機装エイコー株式会社に貸与し、日機装エイコーは事務所として使用している。

(2) 賃貸料の活用

成美教育文化会館の賃貸で得た料金は、会館の利用者一人一人が安全で有益な活動ができるようにするための、施設・設備などの維持・管理に活用した。

(3) 今後の課題

貸与先の要望も取り入れながら、セキュリティ等のトラブルが起きないように、いろいろな対策をしていく。

#### 5. 附属明細書

「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告を補足する重要な事項」は、特になし。

正味財産増減計算書内訳書

公益財団法人 豊島修練会  
自 令和 2年 4月 1日  
至 令和 3年 3月 31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	共通	小計	取1	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用収入	( 19,173,117)	( 113,260)		( 19,286,377)	( 29,024,117)	( 29,024,117)			( 48,310,494)
各室利用収入	17,467,852			17,467,852	29,024,117	29,024,117			46,491,969
土地貸付収入	1,705,265			1,705,265					1,705,265
寮費収入		113,260		113,260					113,260
② 運用財産収入	( 400)	72	( 8,764,418)	( 8,764,890)					( 8,764,890)
受取利息	400	72	8,764,418	8,764,890					8,764,890
③ 会費収入		( 13,552,500)		( 13,552,500)			( )		( 13,552,500)
入会金・会費収入		13,552,500		13,552,500					13,552,500
④ 賭収益	( 3,215,161)	( 3,000)		( 3,218,161)	( 1,157,019)	( 1,157,019)			( 4,375,180)
雑収入	3,215,161	3,000		3,218,161	1,157,019	1,157,019			4,375,180
経常収益計	22,388,678	13,668,832	8,764,418	44,821,928	30,181,136	30,181,136	0	0	75,003,064
(2) 経常費用									
① 事業費	( 70,820,942)	( 29,841,382)	( 550)	( 100,662,874)	( 40,138,717)	( 40,138,717)			( 140,801,591)
役員報酬	8,320,000			8,320,000					8,320,000
給料手当	2,686,713	2,612,500		5,299,213					5,299,213
福利厚生費	14,261			14,261					14,261
光熱水費	4,763,552	1,813,906		6,577,458	2,381,776	2,381,776			8,959,234
印刷製本費	32,118			32,118					32,118
消耗品費	2,882,454	351,486		3,233,940					3,233,940
賃借料	742,689	1,027,945		1,770,634					1,770,634
支払保険料	115,287	539,620		654,907	88,524	88,524			743,431
修繕費	1,858,052	961,200		2,819,252	1,682,889	1,682,889			4,502,141
租税公課	6,837,488			6,837,488	5,250,214	5,250,214			12,087,702
渉外費		64,200		64,200					64,200
旅費交通費	406,864	8,840		415,704					415,704
通信運搬費	186,386	335,099		521,485					521,485
減価償却費	31,108,058	21,058,309		52,166,367	23,883,701	23,883,701			76,050,068
委託報酬料	1,626,241			1,626,241					1,626,241
会議費	713			713					713
設備管理費	4,933,032	934,844		5,867,876	3,787,863	3,787,863			9,655,739
清掃管理費	3,579,744			3,579,744	2,748,732	2,748,732			6,328,476
警備管理費	410,256			410,256	315,018	315,018			725,274
衛生費		7,720		7,720					7,720
廃棄物収集費	234,550	108,020		342,570					342,570
雑費	82,484	17,693	550	100,727					100,727
予備費									
② 管理費							( 5,831,091)	( 5,831,091)	
役員報酬							2,550,000	2,550,000	
福利厚生費							1,781	1,781	
光熱水費							793,925	793,925	
印刷製本費							3,569	3,569	
消耗品費							359,901	359,901	
賃借料							82,521	82,521	
支払保険料							2,059	2,059	
修繕費							31,022	31,022	
租税公課							122,098	122,098	
渉外費							143,720	143,720	
旅費交通費							271,242	271,242	
通信運搬費							20,709	20,709	
減価償却費							580,227	580,227	
委託報酬料							696,961	696,961	
会議費							2,851	2,851	
設備管理費							88,090	88,090	
清掃管理費							63,924	63,924	
警備管理費							7,326	7,326	
衛生費								0	
廃棄物収集費								0	
雑費							9,165	9,165	
予備費								0	
経常費用計	70,820,942	29,841,382	550	100,662,874	40,138,717	40,138,717	5,831,091	0	146,632,682
当期経常増減額	-48,432,264	-16,172,550	8,763,868	-55,840,946	-9,957,581	-9,957,581	-5,831,091	0	-71,629,618
II 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計									
(2) 経常外費用									
法人税・住民税及び事業税							70,000		70,000
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	70,000	0	70,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	-70,000	0	-70,000
他会計振替額	-65,742	4,000,000	-4,000,000	-65,742		0	65,742		0
一般正味財産期首残高	1,387,591,058	242,062,247	-107,335,682	1,522,317,623	653,299,718	653,299,718	21,255,170		2,196,872,511
一般正味財産期末残高	1,339,093,052	229,889,697	-102,571,814	1,466,410,935	643,342,137	643,342,137	15,419,821	0	2,125,172,893
III 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額									0
指定正味財産期首残高									0
指定正味財産期末残高									0
III 正味財産期末残高	1,339,093,052	229,889,697	-102,571,814	1,466,410,935	643,342,137	643,342,137	15,419,821	0	2,125,172,893